

卒業生のみなさんへ

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、式に参加されるみなさんの健康と安全を最優先に考え、卒業式を中止することにしましたが、みなさんへ贈る言葉として、毎年の卒業式での式辞の形式でお伝えしたいと思います。

高知の地に春の訪れを感じる中、令和元年度の卒業生を送り出すことができ嬉しく思います。機械工学科 37 名、電気情報工学科 31 名、物質工学科 40 名、環境都市デザイン工学科 47 名の卒業生のみなさん、おめでとうございます。

本校に入学してから卒業の日まで、温かく見守ってこられた保護者の方への感謝を忘れないでください。また、日頃から本校の教育・研究・地域貢献活動を通じて、みなさんを見守っていただいた地域の方々のご理解とご支援があったからこそその卒業だということを心に留めてください。

さて、卒業生のみなさんが踏み出して行かれる二十一世紀の社会は、イノベーションの時代です。それは生産技術の変化だけのイノベーションではなく、新しい市場の開発や新しい制度の導入なども含むイノベーションの時代です。そこでは、今ある仕事でキャリアを積もうとする「依存型キャリア志向」ではなく、自ら主体となって新たな事業を創造できる「自立型キャリア志向」になることが要求されています。

では、卒業に当たり、ディプロマポリシー、すなわち本科の卒業認定方針を確認してみましょう。

それは、「①基本的な人格と社会的責任(技術者倫理)、②基礎的技術の習得と専門的技術を活用する知識と能力(技術者知識)、③豊かな創造力と行動力(技術者能力)を身につけていること」です。

ここには、「基礎を身につけ、応用する」ということが謳(うた)われています。みなさんは、これらの高い目標を達成されてきました。高専の教育では、講義と実験・実習を有機的に組み合わせることで、理論と技術の基礎を身につけてきました。講義において頭で勉強したことを、実験・実習において手で確認する。実験・実習において手で勉強したことを、講義において頭で確認する。これを繰り返すことで専門基礎力を身につけてきました。

この「基礎を身につける」ということが重要なのです。次に何が起こるか予測できない世の中になってきています。この時代を切り拓くのは、学んだ理論と技術を柔軟に応用できる人です。応用できるためには、基礎が身につけていなければなりません。基礎を身につけるためには、頭だけの理解ではない、実験・実習などの様々な経験を通しての理解が必要なのです。本校を卒業されるみなさんが、その「基礎を身につけた人」に当たります。

もう一つ重要なことがあります。技術は深くなって行くばかりでなく、広がってきています。つまり、様々な技術が融合複合してきています。たとえば、コンピュータを例にとると、PC(パソコン)はオフィスにおいて事務処理の効率化のためにスタンドアロンの形式で使われ始めましたが、すぐに通信と結びつきネットワークに接続されて世界中とつながるようになりました。さらに集積回路の微細化と結びつき、今では通信機能付き高性能コンピュータであるスマートフォンとなり、これを一人一人が携帯し、いつでもどこでも誰とでも使えるようになりました。

次は、この情報通信技術 ICT が自動車と融合し、自動運転の技術となってきています。さらに、車の周囲の状況判断を人工知能 AI にさせるなど、現代はいろいろな分野の技術が融合複合されるようになり、自分の得意な専門分野だけでは収まらない時代になっています。幅広い分野の知識や技術がある程度知っていないと、自分のもっている技術を応用できなくなっています。

そこで、みなさんをお願いします。みなさんは今、自分の専門分野で少し太くなった幹をもつ「若い木」となって卒業していきます。今後は、自分の専門の幹をもっと太くして「高い木」になるとともに、若い木のときのしなやかさを忘れず、そして、たくさんの他の分野の「枝」を付けた、人とは違う「面白い木」になるよう、自分を鍛えてください。幸い、みなさんは複数の専門の理論と技術を学んできていますので、在学中にこのことを経験されてきたと思います。これからも、他の分野に積極的に興味を持つようにしてください。

今見てきたように、みなさんにはイノベーションを起こす「自立型キャリア志向」の人になる素地が十分にあります。自信をもって社会に乗り出してください。

さて、めでたく 155 名の学生諸君が本校を巣立っていかれますが、この高知高専の地で築くことができた同級生の結びつきを大切にしてください。社会に出てからもお互いに支え合い、生涯を通じての友達でいてください。また、学校へも顔を出して、いろいろな話を先生や後輩の学生にしてください。待っています。

これからみなさんが世界で活躍され、悔いのない素晴らしい人生を歩んでいかれることを祈念して、私からの贈る言葉といたします。

令和 2 年 3 月 15 日

高知工業高等専門学校長
井瀬 潔